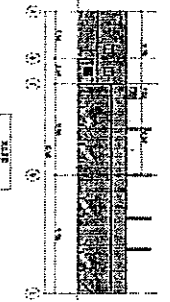


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-BD-01R0101 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD-NC-2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	共立印刷(株)木庄町のびろせりー	階数	地上2F
建設地	埼玉県木庄市いまい合二丁目100番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火準防火地域、な	平均居住人員	55人
地域区分	S地域	年間使用時間	1,300時間/年(総定価)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月	評定の実施日	2010年0月15日
敷地面積	8,874 m ²	作成者	古田 鉄二
建築面積	4,329 m ²	確認日	2019年8月15日
延床面積	4,706 m ²	確認者	古田 鉄二
			

2-1 建築物の環境効率(BEE)ワット&チャート **2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)** **2-3 大項目の評価(L-チャート)**

BEE = 1.1 ★★★★★★★★★★

S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★★ B+:★★★★★ C:★★★★

30%★★★★★ 60%★★★★★ 80%★★★★★ 100%★★★★★ 100%超★★★★★

探検計算
 ①歩道 100%
 ②建築物の取組み 76%
 ③上記①②以外の 76%
 ④上記+ 76%

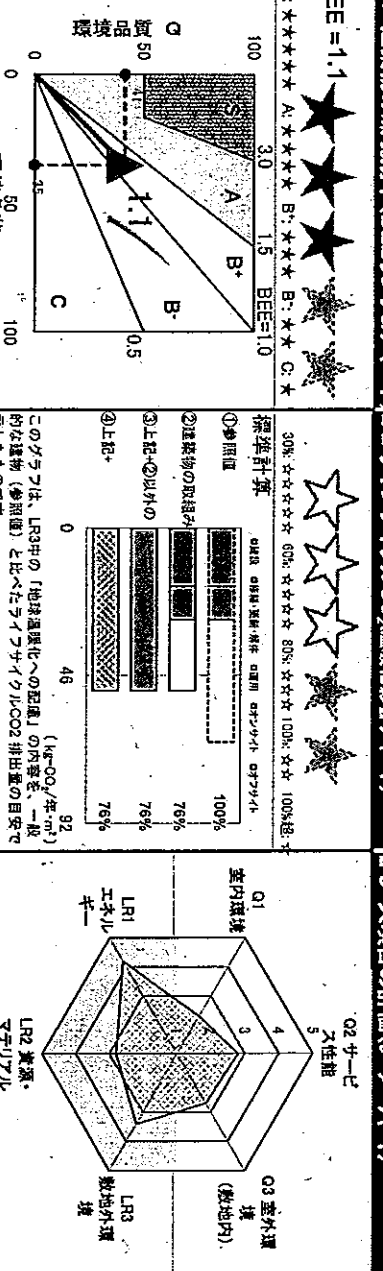
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内訳を一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

(%CO₂/年・㎡)
0 46 92

室内環境 Q1
LR1 エネルギー

Q2 サービエ性能
LR2 資源・マテリアル

Q3 室外環境(敷地内)
LR3 敷地外環境



2-4 中項目の評価(L-チャート)

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.3

1	音環境	2.0	2.8	2.8
2	照環境			
3	空気環境			
4				
5				

Q2 サービエ性能 Q2のスコア = 2.8

1	機能性	3.0	3.0	3.0
2	耐用性			
3				
4				
5				

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

1	生物環境	2.6	2.6	2.6
2	まちなみ			
3				
4				
5				

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

1	建物外皮の	自然エネルギー	設備システム	効率的
2				
3				
4				
5				

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

1	水資源	3.0	3.0	3.0
2	非再生材料の			
3	汚染物質			
4				
5				

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

1	地球温暖化	3.0	3.0	3.0
2	地域環境			
3				
4				
5				

3 設計上の配慮事項

新規建築を敷地全面に計画し、自然と親しむ環境と地球環境負荷の低減を同時に取り組みました。

Q1 室内環境 耐久性及び断熱性能の高い材料を使用し、断熱材の低減に配慮しました。

Q2 サービエ性能 経年経任切りによるメンテナンス性を考慮しました。

Q3 室外環境(敷地内) 工業団地として、周辺に配慮した計画とした。周辺の自然環境と調和した植栽計画としました。

LR1 エネルギー 効率の良い機器を採用(例: LED照明器具、空調機には、高効率パワージェアコンの採用)し、エネルギー削減を図りました。

LR2 資源・マテリアル エコ商品の採用によるライフサイクル効果等、環境配慮をしました。

LR3 敷地外環境 道路境界線から建物の距離を取り、騒音や振動への配慮をしました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷低減性)、R: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂とは、建築物の建材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

GASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
 共立印刷(株)本社印刷センター

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、
 ■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配成項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
0 建築物の環境品質						
01 室内環境						
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル		1.8	0.15	0.33	-	2.6
1.2 遮音		2.0	0.40	0.80	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.40	0.40	-	
2 界壁遮音性能		1.0	0.40	0.40	-	
3 界床遮音性能(軽重衝撃源)		1.0	0.40	0.40	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	0.60	-	
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温		3.0	0.50	1.50	-	
2 外皮性能		3.0	0.38	1.14	-	
3ゾーン別制御性		3.0	0.25	0.75	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.38	1.14	-	
2.3 空調方式		1.0	0.20	0.20	-	
3 光・視環境						
3.1 屋光利用						
1 屋光率		2.4	0.30	0.72	-	
2 方位別開口		2.0	0.60	1.20	-	
3 屋光利用設備		3.0	-	-	-	
3.2 グレサ対策		3.0	0.40	1.20	-	
1 屋光制御		3.0	0.30	0.90	-	
3.3 照度		3.0	1.00	3.00	-	
3.4 照明制御		3.0	0.15	0.45	-	
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質		3.0	0.50	1.50	-	
2 換気		3.0	1.00	3.00	-	
1 換気量		3.0	0.30	0.90	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	0.99	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	0.99	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	0.40	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	1.50	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	0.50	-	
02 システム性能						
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性		2.3	0.40	0.92	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	0.33	-	
3 ハワイフリー計画		3.0	0.33	0.99	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	0.78	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	0.99	-	
2 リンクジュネス		2.0	0.33	0.66	-	
3 内装計画		3.0	0.33	0.99	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	0.90	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	1.50	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	1.50	-	
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震・制震・制振						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.50	1.50	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.80	2.40	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	0.60	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.30	0.90	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	0.60	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	0.30	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	0.30	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	0.60	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	0.60	-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	0.60	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	0.60	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	0.60	-	
3 電気設備		3.0	0.20	0.60	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	0.60	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	0.60	-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	3.0	0.30	-	3.0	
		2 空間の形状・自由度	2.0	0.60	-	-	
		3.2 荷重のゆとり	5.0	0.40	-	-	
		3.3 設備の更新性	3.0	0.30	-	-	
		1 空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
		6 ネットワークスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出	-	0.35	-	-	2.7	
	2 まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	-	-	3.0	
	3 地域性・プロムナードへの配慮	3.0	0.40	-	-	3.0	
LR 建築物の環境負荷低減性	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.30	-	-	2.0	
	3.2 敷地内温暖環境の向上	2.0	0.50	-	-	2.0	
LR1 エネルギー	1 建築物外皮の熱負荷抑制	[BPI]:0.54	-	0.40	-	4.2	
		[BEI]:0.58	5.0	0.02	-	5.0	
		[BEI]:0.58	3.0	0.12	-	3.0	
		2 自然エネルギー利用	5.0	0.61	-	5.0	
		4 効率的運用	集合住宅以外の評価	3.0	0.24	-	3.0
			4.1 モニタリング	3.0	1.00	-	-
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
		LR2 資源・モノリサイクル	1 水資源保護	1.1 節水	-	0.30	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.0			0.20	-	3.0	
1 雨水利用システム導入の有無	3.0			0.40	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0			0.60	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	3.0			0.70	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用	2.1 材料使用量の削減	3.0	0.30	-	3.8	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
		2.5 持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-	
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.20	-	-	
		3.2 フロントハロンの回避	3.8	0.20	-	-	
		1 消火剤	5.0	0.30	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	3.3	0.70	-	-			
3 冷媒	2.0	0.33	-	-			
5.0	0.33	-	-	-			
LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮	CO2排出量が一般的な建物と同じ	3.0	0.30	-	3.4	
		2.1 大気汚染防止	3.9	0.33	-	3.9	
		2.2 温暖化環境悪化の改善	3.3	0.33	-	3.3	
		2.3 地域インフラへの負荷抑制	燃焼機器は使用していない	5.0	0.25	-	-
			1 雨水排水負荷低減	3.0	0.50	-	-
			2 汚水処理負荷抑制	2.5	0.25	-	-
		3 周辺環境への配慮	1 騒音	3.0	0.25	-	-
			2 振動	3.0	0.25	-	-
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.25	-	-	
		3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	1 風害の抑制	3.0	0.25	-	-
2 砂塵の抑制	3.0		0.25	-	-		
3 日照障害の抑制	3.0		0.25	-	-		
3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のちらみによる光の照射	3.0	0.25	-	-		
	2 屋外照明及び屋内照明のちらみによる光の照射	3.0	0.25	-	-		
	2 屋外照明及び屋内照明のちらみによる光の照射	3.0	0.25	-	-		

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェア

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要			
建物名称	共立印刷(株)本庄ビジネスセンター	BEE	1.2
			BEEランク
			★★★

2 重点項目の評価

ライサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア			
3.9	+	2.6	= 6.5
重点項目の各スコアの合計点			
かんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常に良い 6.8以上	すばらしい 8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライサイクルCO2の削減

スコア平均 3.9

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア

<配慮した内容を記述>LCCO2排出率75%

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)
LR3 敷地外環境

1. 生物環境の保全と創出
3. 2 敷地内温熱環境の向上
2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア	3.0
スコア	2.0
スコア	3.0

<配慮した内容を記述>20%以上の緑化率、生物多様性への配慮と環境負荷低減に貢献。見付率:58%、隣棟間隔指数:2.15、地表面对策面積率:51.2%

: 入力欄